



講演会

“原発問題”を 自分のこととして考えるとは？

村では、日本原子力発電(株)東海第二発電所問題に関して、「住民の意向把握」を課題の一つとしています。平成30年度に国内初の取り組みとして注目された、島根県松江市での原子力発電所をテーマとした「自分ごと化会議in松江」の意義・成果等について学び、原発を「誰かが考える問題」ではなく、「自分の問題」として、多くの人に関心を高めていくための調査・研究の一環として、講演会を開催します。

「自分ごと化会議in松江」とは？

全国で唯一、県庁所在地に原子力発電所が立地する島根県松江市民が、「原発を自分のこととして考えられるようにしたい」という思いから始まった会議です（原発を肯定・否定したり、稼働の是非を話し合うことを目的として行ったものではありません）。

この会議では、行政でも議会でもなく、「市民」がその場を作り、選挙人名簿から無作為に選ばれた松江市民26人（島根大学生5人を含む）が議論を重ねました。そして、市民・地域、市・県・国、電力会社ができることについて、日常生活で感じる身近なことをまとめ、松江市長や島根県知事、経済産業大臣、中国電力(株)などに提案書を手渡しました。

日時

令和2年**9月19日** **土**
13時30分～16時15分
(受付:12時30分から)

会場

東海文化センター

13:30～14:30 **第1部「講演」**

講演

①

「全国で開かれる自分ごと化会議の意義について」

講師：伊藤 伸さん（政策シンクタンク 構想日本 総括ディレクター）

講演

②

「自分ごと化会議in松江の取り組み」

講師：福嶋 浩彦さん（自分ごと化会議in松江実行委員会・共同代表、中央学院大学教授）

14:45～15:45 **第2部「パネルディスカッション」**

パネリスト：山田 修（東海村長）

吉岡 古都さん（自分ごと化会議in松江実行委員会・元広報担当、薬剤師）

福嶋 浩彦さん

15:45～16:15 **質疑応答**

入場無料

定員：400名程度

要申し込み

新型コロナウイルス感染症
対策のため、入場制限を
行う場合があります

申し込み方法は裏面へ